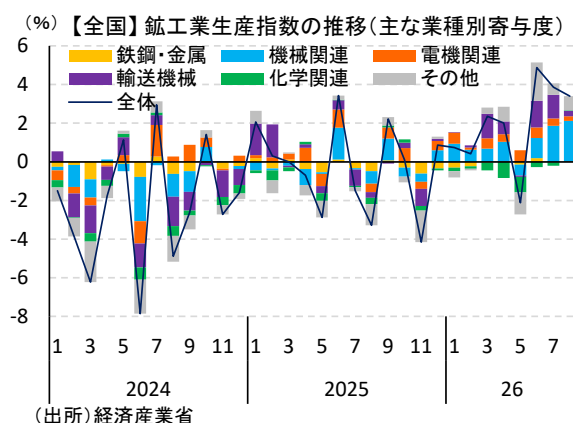
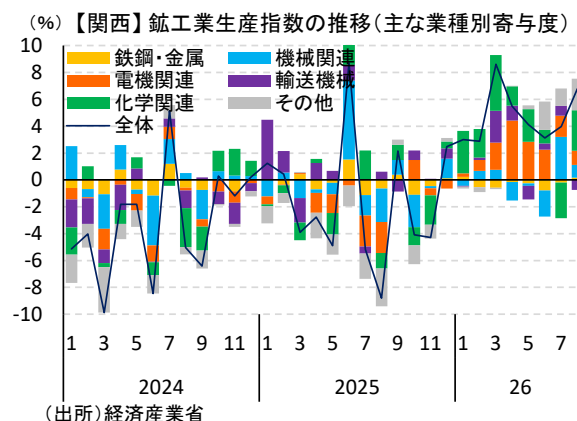
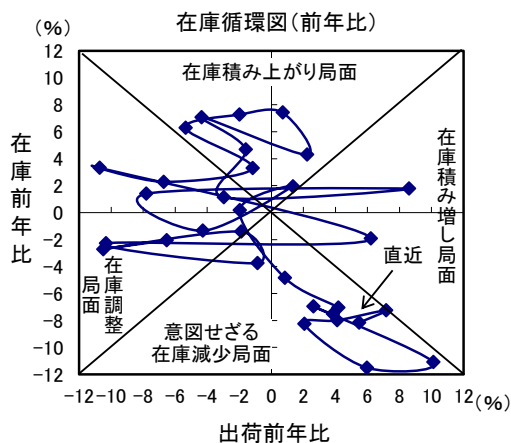
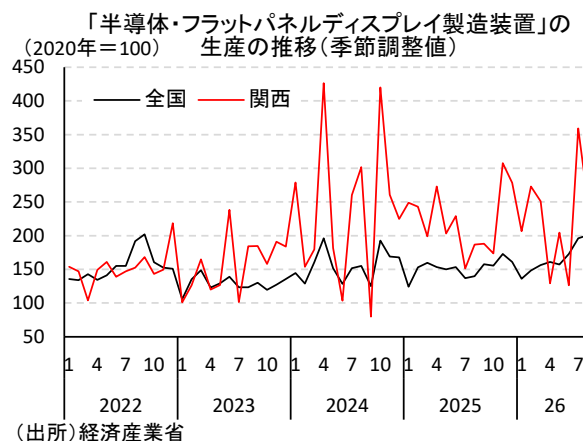


## 関西の景気トピックス【鉱工業指数（26 年 8 月）】

- 26 年 8 月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）によると、生産（原数値）は前年比で 6.8%増と、9 か月連続の増加となった。業種別には、石油化学製品を中心とした化学関連のほか、エアコンを中心とした電機関連が伸び、全体を押し上げる形となった。
- 在庫循環の状況を見ると、前月に続き「需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する」意図せざる在庫減少局面となっている。好調な生産状況を反映したものとなっているが、その継続性について来月以降の動向が注目される。
- 今月は 2027 年問題に伴うエアコンの増産に加え、中東情勢の変化に起因する石油化学製品の増産が全体を押し上げている。いずれも特殊要因の要素が含まれるなど、先行きは不透明感が強い。国内外の環境変化が激しい局面だけに、今後の動きについては警戒が求められよう。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。